

2023 年度（令和 5 年度）事業計画

【基本理念】 ひとが輝き、「やさしさ」を奏でるまち長門

【基本方針】 Change & Challenge（変革と挑戦）＝ 明るく元気な長門へ
～DMOの推進により、地域の魅力を高め、ながとブランドの創造へ～

【コンセプト】 私たちは、観光を通じて地域の魅力を高め明るくいいきいと
した社会の実現を目指します。

【スローガン】 初めてなのになつかしい 訪れるたびに新しい Nagato is calling

※参考資料

第3次長門市観光基本計画の数値目標

| | 説明 | 現状値 (令和4年実績) | 目標値 (令和8年度) |
|-------------------------|----------------------------------|-----------------------------|--|
| 観光客数 | 観光客数動態調査による観光客数 | 196万人 | 300万人 |
| 宿泊客数 | 観光客数動態調査による観光客数 | 38万人 | 50万人 |
| 市内旅行消費額 | アンケート調査による消費額 | (日帰り)10,923円 (宿泊)39,469円 | (日帰り)10,000円 (宿泊)40,000円 ※協会独自目標 |
| リピーター率 | アンケート調査によるリピーター客の割合 | 64.6% | 55.0% |
| 観光ガイド会員数 | 観光ガイド会員数 | 30人 | 60人 |
| 長門市観光情報Webサイト「ななび」アクセス数 | 長門市観光情報Webサイト（日本語及び外国語版）の1日平均訪問数 | 2,999人 | 4,000人 |

観光客数の動向

(単位:人)

| | 平成29年 | 平成30年 | 令和元年 | 令和2年 | 令和3年 | 令和4年 |
|-------------------|-----------------------|-----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|-----------------------|
| 年間観光客数 (対前年比率) | 2,147,999 (138.6%) | 2,538,014 (118.2%) | 2,410,986 (95.0%) | 1,636,299 (67.9%) | 1,628,301 (99.5%) | 1,963,162 (120.6%) |
| (宿泊客数) | 520,895 | 487,869 | 485,803 | 336,143 | 321,894 | 375,175 |
| (日帰り客数) | 1,627,104 | 2,050,145 | 1,925,183 | 1,300,156 | 1,306,407 | 1,587,987 |
| (県外客数) | 1,333,475 | 1,400,941 | 1,370,742 | 818,457 | 780,457 | 1,030,096 |
| (県内客数) | 814,524 | 1,137,073 | 1,040,244 | 817,842 | 847,844 | 933,066 |

I 事業活動方針

1. 一般社団法人長門市観光コンベンション協会定款第4条に掲げる事業を行う。
2. 「第3次長門市観光基本計画」（令和4年3月策定）の2年目にあたり、基本計画に則り事業を推進することにより、交流人口の拡大と観光消費額の拡大を図る。
3. 観光地域づくり法人（観光DMO）登録推進、戦略的な情報発信、地域旅ブラッシュアップを柱とする事業展開を行い、地域の魅力を高め「ながとブランドの創造」に向けた事業を推進する。更に持続可能な観光に向けた事業推進に取り組む。

II 第3次長門市観光基本計画の具現化に向けた事業展開

1. 地域経済の視点に立った観光の創出
 - (1) 新たな観光商品の実現
 - ・データに基づいたターゲットにマッチした商品の開発及びコンテンツ造成の支援を行う。
 - ・他県からの高速バスや山口県内拠点駅や空港からの直行タクシー利用者に向けた商品やおもてなしを実施する。
 - ・既存商品のブラッシュアップを図る。
 - (2) 着地型観光・地域旅商品の造成とPR
 - ・ながと体験観光プログラム「ナガトリップ」や長門湯本温泉発着オプションツアーの催行率向上を図るため、効果的なPRを実践する。
 - ・既存コンテンツの磨き上げを図ることにより、経済循環の強化を図る。
 - ・体験型教育旅行のプログラム拡大を図りつつ、営業活動とマーケット分析を行う。
 - (3) 長門市観光コンベンション協会の機能強化
 - ・観光DMO登録を目指し、データ収集・分析を継続的に実施するとともにデータに基づいたマーケティングを推進する。
 - ・実施したデータ分析等は会員にも共有することにより、会員の事業拡大に寄与するべく取り組む。
 - ・会員事業者との連携を強化することにより、会員事業者間の相乗効果を図る。
 - ・幅広い事業者・関係機関と連携するためにも会員増強を図る。
 - ・自主財源拡大のため収益性のある事業の推進を図る。
 - (4) MICEの誘致
 - ・長門市および市内事業者と連携して、大会等の情報収集と誘致に向けた営業を行う。
 - ・山口県観光連盟等県関連団体とも連携し、大会等の情報収集を行う。
 - (5) 外国人観光客の誘致
 - ・インバウンドを対象としたデジタルマーケティングを実施する。
 - ・山口県、長門市と連携して海外エージェントへのセールスプロモーションを実施する。
 - ・外国人観光客を意識した文化・体験観光の充実にむけた企画を実施する。
 - (6) 持続可能な観光に向けた事業推進の検討
 - ・長門らしい自然や景観を次世代につなぐ事業を推進する。
 - ・会員事業者のDXを活用した生産性向上に向けた取り組みを推進する。
 - ・会員の人手不足解消、人材育成に向けた取り組みを推進する。
 - ・SDGs・GXを意識した取り組みを推進する。

2. 広域で経済を回す仕組みづくり

(1) 元乃隅神社や温泉地を中心とした周辺地域の魅力創出に向けた調査・研究を行う。

(2) 広域連携体制の強化

- ・福岡や広島からの誘客促進に向けた取り組みを行う。
- ・山口県観光連盟および近隣地域と連携して、誘客促進に取り組む。

3. 新たな長門の魅力の創出

(1) ながとの「食」や「土産物」の新たな魅力創出

- ・事業者との連携による高付加価値の商品開発支援を行う。
- ・ながとブランド確立に向けた取り組みを行う。
- ・名物や特産品を手軽（食べ歩き等）に楽しめる環境の整備や協力事業者との連携により需要創出を図る。

(2) 長門らしいツーリズムの推進

- ・アウトドアツーリズム推進に向けて、取組事業者や各種事業を支援する。
- ・「JAL 向津具ダブルマラソン」等の大規模イベント参加者に向けた宿泊プランの造成・販売を行う。
- ・スポーツ合宿や高齢者スポーツ大会等の誘致を行う。

(3) 文化・伝統を生かした観光事業

- ・文化施設の魅力創出と施設を拠点とした周遊観光の創出を図る。
- ・地域に根付く伝統行事と連携した観光事業の拡大と積極的な情報発信を行う。

(4) 話題性のある観光関連事業の展開

- ・ナイトタイムコンテンツの造成を検討するとともに実施事業者の運営支援を行う。
- ・話題性のある地域らしいイベントの支援及び連携を図るとともに社会情勢や流行を取り入れた観光商品の展開を図る。

4. 情報発信の強化

(1) 戦略的な情報発信

- ・長門市観光情報サイト「ななび」の迅速な更新と分かりやすいサイト運営に努める。
- ・SNS等を活用し、ターゲットを明確化した効果的な情報発信を行う。
- ・情報発信会や観光宣伝事業への参加による県内市町と連携した情報発信を行う。
- ・メディア等への積極的な情報提供を行う。

(2) 周遊促進に向けた「旅ナカ」の情報発信強化

- ・効果的な情報ツールの検討を行う。
- ・「旅ナカ」に関する情報発信の充実を図る。
- ・レンタサイクル、トゥクトゥクなど体験型モビリティの情報発信を強化する。

5. 情勢の変化への対応と対策

(1) 観光事業者への総合的な支援

- ・国、県、市の一時的な支援に対して、民間事業者との橋渡しを行う。
- ・観光事業者の経営力向上と事業継続化及び事業者継承に向け事業者間連携の強化に取り組む。

(2) 安心安全な“ながと観光”の確立

- ・長門市と連携してニューノーマルに対応した観光事業者への支援を行うとともに安心安全に配慮した観光地づくりに取り組む。

(3) シビックプライド熟成による観光人材の育成

- ・観光人材や観光関連従事者等のスキルアップ及び育成・活用に向け、共同研修等の仕組みづくりを行う。

6. ながと観光の質と魅力の磨き上げ

(1) 「長門温泉郷」の魅力を活かした取り組み

- ・素泊まり客に向けた、外食需要に対する取り組みを推進する。
- ・閑散期である冬に集客を見込んだプランの取り組みを行う。
- ・市内に点在する温泉地同士の連携を支援するとともに観光地との周遊促進を図る。

(2) 長門湯本温泉観光まちづくり事業の推進

- ・長門湯本温泉の各組織と連携することにより、温泉街をそぞろ歩きできる楽しみを演出する支援を行うとともに、温泉街の活性化を実現する。

(3) 俵山温泉の活性化に向けた取組強化

- ・魅力ある温泉街創出に向けた事業への支援を行う。
- ・「ONSEN・ガストロノミーツーリズム」の推進と地域の連携を支援する。

(4) 仙崎地区周遊促進の仕組みづくり

- ・地域資源を生かした集客力のあるコンテンツの造成を図るとともに、地域の魅力創出に向けた事業支援を行う。
- ・青海島の観光資源を生かしたコンテンツの造成を図る。
- ・センザキッチンを拠点とした情報発信を強化する。

(5) 観光地の景観保全

- ・長門市及び地域事業者（市民）と連携して観光客の満足度向上に向けた環境作りを図る。

(6) 二次交通・三次交通の整備

- ・長門市及び交通事業者と連携して、公共交通機関を利用して来訪された方が観光を楽しめるコンテンツの開発を行う。
- ・レンタサイクル、レンタカー事業をはじめ、トウクトウクなど新しいモビリティの活用による滞在時間の拡大や周遊促進を図る。